

THE KOBECO

SEPTEMBER No. 305

1986 9月刊 神戸っ子

神戸っ子 昭和40年1月20日 第三種郵便物認可
昭和61年9月1日印刷 通巻305号 昭和61年9月1日発行 毎月1回1日発行



BENIYA AUTUMN
COLLECTION



September Story 男の浪漫が香る、秋物語。

センス
新人類の感覚を

若者のステータスにさせておくことはない。

少年のころの夢に人生経験分をプラスすれば
ゆとりと遊び心がひろがるはず……。

この洒落けっさで、都会という密林を歩く快感は、
さすらいととき
浪漫という彷徨の時間に変わる。

これこそが、神様がくれた
人生のご褒美といえるのではないか。



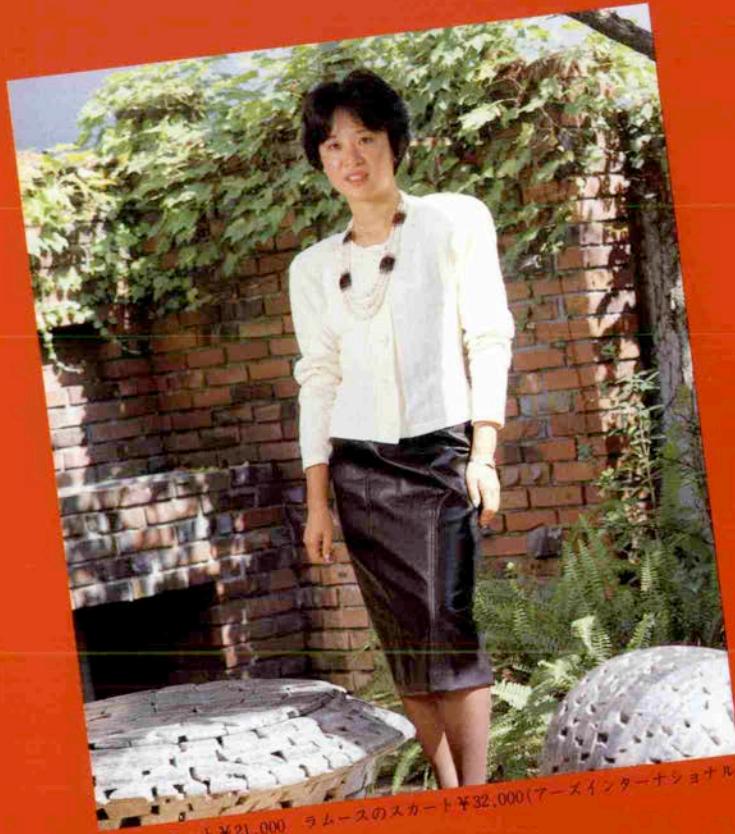
 BENIYA
renoma
●レノマショップ／三宮センター街2丁目
☎078(332)0788

せつかくのジュエリーですから
皆様、目の保養をぞんぶんに、どうぞ。

ジュエリーの進化が始まります。

田崎真珠





ニット¥21,000 ラムースのスカート¥32,000(アーズインターナショナル)

山口さとこ、アーズインターナショナルを着る。彫刻家の父、山口牧生氏の影響を受け美大へ進む。木から石、この三年間はたき火やいろいろの灰を素材にユニークな作品を発表中。

※写真のブラウスを抽選で3名様にプレゼントいたします。

葉書に住所・氏名・年齢・職業を記名の上、下記までご応募ください。'86年9月25日締切。

〒651 神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子「イズム」
プレゼント係

ISM CO., LTD.
株式会社イズム

Head office: 1-12, 2-Chome, Nunobiki-cho, Chuo-ku, Kobe, 651, Japan TEL 078-222-3641
Marketing room: 10-7, 2-Chome, Nunomiya-cho, Chuo-ku, Kobe, Japan TEL 078-222-1331

スタイリングギャラリー“アーズ”的岡本店、元町店(神戸大丸2F)が8月28日に、三宮店(神戸そごう3F)8月29日に、新店オープンします。

● Second Cover

世界の物売り(21)モロッコ(マラケシの広場)
(占いかもしぬないパフォーマンス)飾りたてた大きなキセルから
ムチャクチヤに煙をふかすと鳩がチョコチョコと歩きまわる。

中 西 勝
(一紀会)





国際平和年に贈る 神戸YMCA 100周年記念 特別プログラム

10月25日(土) 神戸文化ホール

午後6時30分開演

▼大ホール

平和への賛歌 —講演と音楽の夕べ—

『アフリカのトットちゃん』

黒柳徹子



『クラシック・ファミリーコンサート』

東 敦子

〈演奏〉神戸フィルハーモニック

〈合唱〉神戸中央合唱団

〈指揮〉朝比奈 千足

中村仁策

チケット 2,000円

〈前売場所〉

サンチカ・国際会館
新聞会館・神戸文化
ホールのプレイガイド
及び神戸YMCA

▼中ホール

平和ってなあんだ こども大会

『ファンファーレ』

神戸ジュニア弦楽アンサンブル

『平和の映画』

『懸賞作文の発表と表彰』

『歌とゲーム』

スキップ楽団



チケット 500円

〈前売場所〉

神戸YMCA及び
各ブランチ

神戸YMCA 100周年事務局

〒650 神戸市中央区加納町2-7-15

☎ 241-7201



erreuno[®]

MILANO - ITALY

秋のはじめにシックを着る
女らしさへのあこがれ、
エレウノコレクション

Sanohe

ヌーベルサノヘ(元町1番街)TEL 321-1710



TRUE LOVE IN SEPTEMBER

Tajima
宝飾店 タジマ

元町 2 丁目 TEL 331-5761 代表

優しく繊細な音楽を

四方恭子

(ヴァイオリニスト) カメラ・池田年夫

シユボア国際ヴァイオリン・コンクール第一位受賞(昭和五十七年)という輝かしいプロフィールを持つ四方恭子さんは、実は神戸の六甲生まれ。四歳より難波絢子先生の下でヴァイオリンを始めた。「もともとは、内気な性格を気にかけた両親が、友だちができるようにと通わせたのがきっかけ」ということだが、「ここまでこれたのも、スバルタ方式でなく大らかに見守ってくれた両親のおかげ」とも。県立芦屋高校での二年間は、楽しい高校生活だったそうで東京芸術大学音楽学部に入学した最初の一年間は、競争心やライバル意識を煽りたてる周囲の状況になじめず、苦しい時期だったとか。しかし、在学中に第四十七回NHK毎日音楽コンクールに入選するなど着実に力をつけていく。一九八一年に西ドイツ国立フライブルグ音楽大学に留学し、現在は、恩師堀正文氏が師事したウォルフガング・マーシュナー氏のもとで勉学中。「ドイツでは、音楽家も大らかで天真爛漫。どんな人にも歌心がある。一番うれしかったのは、コンクールに入賞した時と下宿を引越しす時に下宿屋の女主人にアンティーク家具をプレゼントされた時」おつとりとした口調の中にも芯の強さがうかがえる。昭和二十二年生まれ。射手座A型。(演奏会場の田崎真珠本社にて)





Beautiful
eye

わたしとメガネ



真珠は眼が生命

田崎 俊作
〈田崎真珠株式会社社長〉

パールシティコウベの中心的存在である田崎真珠。大好きなヨットにもなかなか思うように乗れない、といわれる田崎社長。

若い頃はどうもメガネが面倒で仕方がなかったのが、最近は大事にかけなければいけないと思うようになられたとか。

「真珠は眼が生命」。メガネとともに、若々しく、カッコよく、人生をエンジョイしていきたいと今日は、ダンディなフレームを見つけられたようです。

眼鏡
メガネ

神戸・大丸前

☎(078)331-1123

ブレーブスの星となれ——小浜裕一

——小浜裕一

(阪急ブレーブス二軍投手) カメラ・池田年夫

「切れるいい直球で勝負できる投手が目標です」——昭和43年2月19日生まれの18才、身長182cm、体重79kg、右投げの本格派投手、背番号73、昭和61年1月阪急ブレーブスにドラフト外入団、神戸市立葺合高校出身——これが小浜裕一のプロフィールだ。

「高校を卒業したら大学へ行つて野球を続けようと思つてました。プロになれるとは思いもしなかつたんだけど、試しに受けたプロテストに受かつてしまつたんですね」とテレ臭そうに笑う。甲子園には縁がなかつた。ドラフト指名の鳴物入りルーキーでもない。「誰も助けてくれないですからね。結局自分しかないです」18才ながら精神的に、しっかりと自立している。

今一番欲しいのは車の免許。彼女は?と聞くと、「いないですよお、今そんな余裕ないです」とうまく逃げられた。「休日は買物に行くぐらいです。音楽聞くのは好きですね。でも目下最大の楽しみは『寝ること』です(笑)。寮生活なので洗濯も自分でやる。私生活は地味なものだ。

「一軍で投げたいです。だけどその前に2、3年で首にならないように頑張らないと…。」プロはきびしいのだ。自分の生き方がきつちりとわかっている男だった。

(西宮球場にて)



ある集い

■ 国際
ジャパネスク
歌舞伎



「知らざあ言つて聞かせや
しょう」青い目の歌舞伎

カネディアン・カザミー日本語教師
国際ジャパネスク歌舞伎演出家 海野光子

46年、神戸、六甲山の麓にある日本有数の国際学校、カネディアン・アカデミーで演劇が盛んで、日本語のレベルさえ上がれば日本語の劇をと考

えていました。當時カネディアン・アカデミーは演劇が盛んで、日本語のレベ

ルさえ上がれば日本語の劇をと考えていました。そこで試しに生徒達を京都南座の顔見世へ連れていったところ、彼らはたちまち歌舞伎の魅力にとりつかれてしまったのです。

私はもともと歌舞伎が好きで、学生時代には主役を演り、演出もしました。なんとか外国人の生徒達で歌舞伎を演れないか……。

無謀な試みかもしれない。しかし言葉の違いを超えて人々の共感を呼ぶのは、『その民族固有の文化』だと信じ、生徒達に話したところ、私のこの提案に彼らは躍りあがって喜んだのです。

こうして「カナディアン歌舞伎」が誕生し、以来昭和56年まで続けてまいりましたが、卒業生、一般の外国人、日本人、あるいは海外からも参加希望がよせられるようになり、昭和57年から「国際ジャパネスク歌舞伎」として新たに発足しました。

7月22・23両日、神戸文化ホールでの「鳴神」公演は、その本格的な演技力で観衆の胸を打つたこと信じます。今後も感動を呼ぶ舞台をと、心に念じています。



ある集い
■
劇団
青い森

日本の美しき 男たちを描く

細見 圭

一九八〇年十月、芦屋で創立した劇団青い森(代表森もりこ)は、端々しい若い力で、一般公演、児童劇公演と幅広い活動をして参りました。

青い森は、兵庫県下で唯一のプロの劇団で、近畿一円、中国地方、東海地方の小・中学校を巡演する毎日です。

毎年秋には、劇団の総力を結集し、本公演をしておりますが、今

秋の出し物は、宮本研作「夢・桃中軒牛右衛門」です。明治とう、男たちがみな獅子のように咆哮して、限りない夢をみた時代を背景に、桃中軒牛右衛門こと宮崎滔天の中国革命と浪花節にかけた生き様を描きます。

一つの時代が、次の時代へとむかってゆくことの悲しさと寂しさが、登場人物達の力強くも明るい人生の中に、浮かびあがつてくるのです。劇場で、皆様にお会いでききのを楽しみにしております。

■劇団青い森第7回本公演

「夢・桃中軒牛右衛門」

宮本研作
ふるかわ照演出

芦屋ルナ大ホール

9月20日(土)13時 21日(日)13時
前売2,000円 当日2,500円

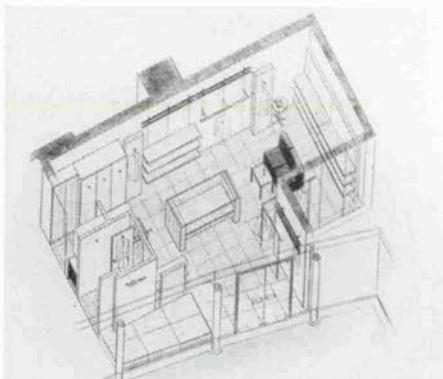
問い合わせ

ブティックNISHIKAWA、9/10(水)華麗にデビュー



大阪ヒルトンプラザ2階

この秋のファッショントイ季節に先がけて待望のホテル「大阪ヒルトンインターナショナル」が9月10日に竣工、それに伴いショッピングアーケード「ヒルトンプラザ」が完成し、その2階に「ブティックニシカワ」も同時に華麗なデビューをいたします。ナビオ阪急店「ジバンシニシカワ」に続いてヒルトン店は「ブティックニシカワ」が感性と格調を持って心をこめて店づくりをいたしました。みなさまのご来店を心よりお待ち申し上げます。



ブティック
NISHIKAWA

大阪市北区梅田1丁目8-16
TEL (06)347-7481(代)



ヒルトンプラザ²



①堺屋太一さんによる「まとめ講演」②第2分科会「海、そして空からの自由化」③第6分科会「ハイカラ神戸の食文化」④ニューメディア機器展示会⑤第5分科会「インテリジェント・シティKOBEを考える」⑥第7分科会「大学は「知的情報」の発信拠点」⑦第4分科会「世界のウォーターフロントに学ぶ」(浜野安宏講師)⑧第1分科会「神戸の街にケーブルカーを」⑨第3分科会「情報社会と戦略的業態革命」(田原總一朗講師)

●コウベスナップ

★神戸を知性あふれる都市に

—神戸JC主催「サマーフォーラムインKOBE'86”—

“新国際都市神戸の創造”をテーマに、(財)神戸青年会議所が開催してきた「サマーフォーラムインKOBE」も、回を重ねて今年で4回目。今年は「インテリジェント・シティKOBE」をメインテーマに、7月18日、神戸国際会議場(一部ワールド本社ビル)において開催された。テーマの内容は、国際都市神戸の情報創造能力・情報発信能力の開発を趣旨として、さまざまな切り口からその方策を探ろうというもの。会場には7つの分科会と展示室が設置され、各テーマとつながりの深い専門家による講演やディスカッション、フィルムの上映会や、ニューメディア機器の展示会等が催された他、最後は堺屋太一さんのまとめ講演で締めくくられるなど、大規模なイベント構成の中で21世紀の神戸像が模索された。